

# おおあさひ支部報

第122号

笠間市社会福祉協議会大旭支部  
発行 大旭支部長 大垣 茂  
編集 大旭支部広報委員会  
発行日 令和3年1月14日  
印刷 有限会社大塩企画

## コロナ禍でも

### クラブ運営に工夫を

高齢者クラブ代表者懇談会

10月6日旭崎新農村集落センターで、社協大旭支部主催「高齢者クラブ代表者懇談会」(8地区の代表者)が開催されました。

- 1 活動の現状と問題点
- 2 支部主催グラウンドゴルフ大会の実施計画



各クラブの発表・提案があり、充実した懇談会

3 高齢者クラブ助成金配布などを内容とし、懇談・検討が行われました。

最初に、大垣茂支部長から「大旭支部下半期行事の日程と計画」などの説明がありました。

### 懇談内容

○現在の会員数と参加状況

○コロナ禍での活動中止や事業の工夫

○「密」を避けるために、屋外での活動が多い。

○子ども会との活動も検討など、多くの発表・提案があり、充実した懇談会となりました。

なお、支部主催のグラウンドゴルフ大会は、感染拡大防止のため本年は中止となり、各クラブで実施することになりました。合同での実施を計画しているとの紹介もありました。

### ◎クラブ代表者名(敬称略)

- 矢野下寿会 荻津 正男
- 若狭山会 鈴木 勝義
- ときわ会 菅原 毅
- 三友会 大森 辰夫
- 旭崎新生会 小野 武
- 旭台睦会 園部 勝
- ふれあいクラブ 青木 清
- 旭平ひので会 小倉 秀男

## お弁当に愛情をトッピング

### 女性部に

### 友部第二小児童も一味付け加え

今年新型コロナウイルスの影響で、諸行事が中止となるなか、女性部にじの会(渡辺米子会長)は、7月から配食事業を再開、毎月第一・第三火曜日に、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問し、手作りのお弁当を届けています。

お弁当が来るのがまちどろしいと大変喜ばれています。今回は、10月20日第三火曜日に配食が行われ、朝早くから仕込んだ大根やさつまいも揚げの煮物、エビと鳥肉のフライやごまあえ、さつまいもなど低カロリーに注意するよう心掛け、お弁当作りは会員が一つひとつ注意を払いながら取り組み、午前11時にはレストラン顔負けの、心をこめた美味



50食のお弁当を作るにじの会会員



## 高齢者にプレゼント

支部女性部(渡辺米子部長)は、祈りを込めたお祝いの品として、南天の木に九匹の猿「苦難が去る」という意味を込めたものを作成し、高齢者に配布しました。作成にかかわった女性部はコロナが入ってこないように、玄関あたりに飾っていただければ、と願いを込めています。

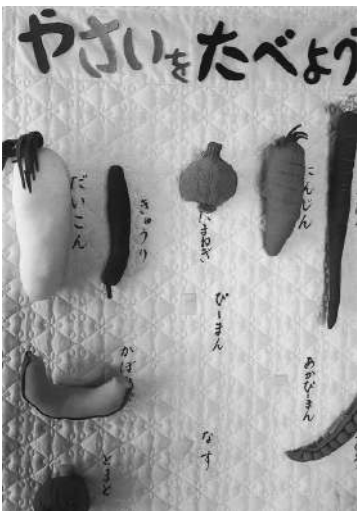
## 大旭川柳

渋滞を 見れば先頭 高齢者  
 どっこいしょ シャガんだあと 何もな  
 つまづいてふりかえっても 何もな  
 最近 忘れたことも 忘れてる  
 愛妻家と 手作りマスクを アピールし  
 雨の日の 相合い傘も 義理の中  
 真夏日に コロナもかかった 熱中症  
 ウイルスで 短くなった 夏休み  
 コロナきて 令和の花々 さみしげに  
 あのマスク カゼか花粉か コロナかな  
 テレビつけ いつまで続く コロナのニュース



ひと声かけ利用者宅へ配食

しいレシピに愛情がトッピングされたお弁当が出来上がりました。準備されたお弁当は50食、お弁当の包み紙は、友部第二小学校3学年の児童が「さむくなつてきているので体にきをつけてください。また、かぜをひかないように。お体を大切に。おべんとうをおいしく食べてください」など、一枚いちまいにぬりえや寄せ書きを書き添えて、お弁当に児童たちの思いも一味付け加えました。



◎綴じ穴を開けました!  
 読者からのご意見により、綴じ穴を開けました。

◎訂正  
 8月31日発行の第121号に、誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。  
 2頁、1段目、26行目 (正) 狩谷 博道さん (誤) 刈谷 博道さん  
 3頁、決算表、支出の部 (正) 旭台睦会 (誤) 旭台・睦会

## あとがき

下校時見守りと配食ボランティアの方からの、ホットな話題をご紹介します。  
 ①登校時の班長さんが、「私たちで、最後です。」とおしえてくれました。  
 ②中・高校生からあいさつされました。嬉しいです。  
 ③高齢者から「なごみの再開を、楽しみにしています」と、声をかけられました。





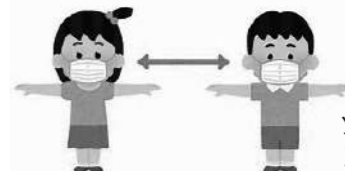
### 感染防止に 注意をよびかけ

#### 支部事業計画を見直し

社協大旭支部では、9月12日役員会議を開催しました。はじめに大垣支部長から「今後の事業を進めるにあたり新型コロナウイルスの感染拡大に注意し、ソーシャルディスタンスをたもちつつ活動を進めていきたい」とあいさつ。後藤政見副支部長の司会で会議を進めた内容を、お知らせいたします。



会議風景



ソーシャルディスタンスを、たもちましょ!

#### 1 再開された事業は

①児童見守り(6月8日再開)  
学年別の分散登校や特別日課などに応じ、協力者のもとで活動を行っています。

#### ②配食事業(7月7日再開)

笠間市社会福祉協議会と連携しつつ「三密」を避けて活動を行っています。

#### (詳細は1頁を参照下さい)

③高齢者クラブ代表者懇談会  
10月16日、クラブ代表者との懇談会を開催しました。(詳細は4頁を参照下さい)

#### 2 再開ならびに、開催の予定されている事業は

①「ふれあいサロンなごみ」12月の再開に向けて、検討中の食事会(3月開催予定)  
②80歳以上の方々とのふれあい  
③ 開催が中止された事業は友部二小、三世代ふれあいの集い

#### (詳細は3頁を参照下さい)

②社協大旭支部役員研修会  
以上のことを決めて、今後の事業を進めていくこととしました。地域の皆様のご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

### サロン再開にむけて

友部地区コミュニティサロン  
運営者意見交換会

8月31日地域福祉センターともべて、笠間市社会福祉協議会主催「友部地区コミュニティサロン運営者意見交換会」が開催されました。

この意見交換会では、「コロナ禍でのサロン活動について話そう」というテーマのもと、サロンをどのような方法で再開するか、また悩んでいることや工夫していることについて意見交換が行われました。

最初に、松田輝雄社会福祉協議会事務局長から「各地区コミュニティサロン活動の情報提供・交換を行い、横のつながりを大切にしてほしい。コロナ禍の大変な状況であるが、活動が広がってほしい」と挨拶がありました。

また、担当職員から資料をもとに「サロン開催時の注意事項」について説明がありました。さらに、感染拡大防止のための「いばらきアマビエ

ちゃん」登録方法の紹介もありました。

次に、友部地区9サロン出席者による情報交換がおこなわれました。活動自粛中に行なったこと、サロンの再開日、再開のための工夫など情報提供、懇談などが活発に行われました。

大旭支部からは渡辺米子「ふれあいサロンなごみ」代表が出席し、なごみの活動状況を発表しました。



コロナ禍でのサロン活動を話し合った意見交換会

### 「なごみ」発表内容

- ・現在参加者は、約60人。男女比率は半々。夫婦参加者も多い。活動内容は認知症予防のため手づくり作業を入れている。
- ・参加者が多く「密」を避けることが困難で、再開日は未定である。
- ・サロン参加者、協力者などに手作りマスクを配布した。
- ・9月は敬老のお祝いとして手紙と記念品を配布。
- ・定期的に手紙を届ける。

#### ◎意見交換会のまとめ

サロンの縮小・休止の中でも、地域に暮らす人たちのつながりを大切にしましょう。

#### 友部地区参加サロン名

- 松山サロンまっぼっくり
- 当の越サロン
- しらゆりサロン
- 館古宿サロン
- ふれあいサロン兎
- 小泉サロン
- ふれあいサロンなごみ
- 陣屋カフエ
- サロンde五平

## 学校・地域との連携強化へ

### 友部第二小連絡協議会

令和2年9月15日、連絡協議会が、友部第二小学校に於いて開催されました。

この協議会は、友部二小及び社協大旭支部共催による「三世代ふれあいの集い」の開催に向けて実施されてきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「ふれあいの集い」が中止となったことにより、今回、新たに、友部二小区長会の参加を得て、開催されました。友部二小からは、矢口祐治校長先生及び結解(けっけい)一憲教頭先生、支部・区長会から計9人の役員が出席して、学校行事や地域との連携等について、話し合いが行われました。

矢口校長先生からは、地域の皆様の友部二小に対する協力への感謝と、協議会の開催経緯等について挨拶があり、結解教頭先生からは、資料に基づき下半期の学校行事につ

いて、説明がありました。

1 遠足については、1・3・6学年は計画より2ヶ月ほど遅れて、2・4学年は計画通り、5学年の宿泊学習は、6学年になってから実施する。

の運動会に変えて、1・2学年、3・4学年、5・6学年の3グループに分け、種目内容もコンパクトにしたミニ運動会とし、保護者の参観も家族2人に制限して実施する。(未就学児童は含まない)

### 区長会 が初の協議会

### 学校 支部



学校に対する協力へ感謝のあいさつをする矢口校長先生



あいさつをする大垣支部長(中央)

3 三世代ふれあいの集いについては、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は中止する。

新型コロナウイルス防疫に対する学校側のご苦労がうかがわれました。

また、運動会の開催に当たり、今年度も、畜産試験場跡地に設ける駐車場スペースの除草作業と運動会当日の駐車場で車の整理作業について小学校から依頼があり、区長会、防犯連絡員等が、対応することとなりました。

学校側の説明の後、次の事項について話し合いがありました。

- 1 笠間地区・岩間地区でスタートしているコミュニティ・スクール(学校運営協議会)について、今年度、友部地区においても設置が予定されており、地域と一体となった学校作りを進めたい。
- 2 下校時見守り活動をされている各ボランティア全員に、大きいサイズの「横断中」の旗を配布することとしたい。
- 3 児童の横断中、ボランティアは待機する車両に背を向けることになるので、事故防止に十分注意する必要がある。

最後に、このような話し合いが、引き続き来年も開催されることを申し合わせて、協議会は終了しました。

